

仲井宗基監督から次戦の注意点を聞く八学光星ナイン
=10日、大阪府吹田市の宿舎

第98回
全国高校野球
選手権大会

▼第4日



光星 初戦突破から一夜明け

次戦東邦(愛知)の戦力分析

第98回全国高校野球選手権1回戦で市尼崎(兵庫)を下し、初戦を突破した八学光星は一夜明けた10日、2回戦で当たる東邦(愛知)の試合の映像をチェックし、攻めどころを分析して次戦を見据えた。

この日はグラウンドでの練習は休み。大阪府吹田市の宿舎の一室では、仲井宗基監督が、集まったナインに「相手主戦の調子は上がっていないとの情報はあるが、先発が主戦でない可能性もある」と伝え、「映像をしっかりと見て、どちらが来てても対応できるようにしよう」と呼び掛けた。

その後、約2時間にわたって戦力分析に当たったナイン。奥村幸太主将は、東邦の投打の中心・主戦の藤嶋健人の名前を挙げ、「藤嶋を中心に打力のあるチーム。守りからリズムをつくるって抑えたい」と話した。

1回戦で5打数4安打2打点と打線をけん引した田城飛翔は「相手は内角を攻めてくるところが、真っ向勝負で応じた」と意気込んだ。

11日は昼ごろから、兵庫県西宮市の鳴尾浜臨海公園野球場で、練習を再開する予定。(林泰輔)

①安藤譲二(3年)=白銀中



1回戦の登板はありませんでしたが、いざ試合に出たときにびくびくしてはいけなないので、いつでも投げられるように心構えをします。

甲子園だぞ

登板できるよう心構え

両親は仕事が忙しいので甲子園には来られませんが、初戦後に「おめでとう」とのメールが届きました。投げる姿を見てもらえるように、練習を頑張ります。

関西入りしてからは、直球、変化球ともに切れが良く調子はいいです。甲子園で登板できたら、自信のある直球で三振を奪いたいです。